

まちづくり交付金 事後評価シート  
宝塚役所周辺地区

令和3年11月

兵庫県宝塚市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	兵庫県		市町村名	宝塚市		地区名	宝塚市役所周辺地区			面積	43ha	
交付期間	平成27年度から令和2年度		事後評価実施時期	令和3年度		交付対象事業費	2468.7百万円	国費率	0.4			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路事業(市道新設、市道逆瀬川米谷線)、地域生活基盤施設(水と緑の空間(広場)、市民活動広場、エントランス広場、駐車場、市民誘導サイン)、高次都市施設(地域交流センター)									
		提案事業	地域創造支援事業(地域活性化イベント等の実施)、事業活用調査(事業効果分析)、まちづくり活動推進事業(ワークショップの開催、まちづくり活動への支援、広報啓発活動の推進)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路事業(市道逆瀬川米谷線)、地域生活基盤施設(エントランス広場、市民誘導サイン)	削除/追加の理由 新名神高速道路供用開始後に改めて必要性を精査したため/新庁舎整備事業の遅れの影響により、期間後に市単独で実施することとしたため。			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 イベント開催回数1回減					
		提案事業	地域創造支援事業(地域活性化イベント等の実施)、まちづくり活動推進事業(ワークショップの開催、まちづくり活動への支援、広報啓発活動の推進)	新庁舎整備事業(市単独事業)の遅れにより、広場整備の一部を都市再生整備計画事業の期間後に市単独事業として実施するため、まちづくり活動推進事業もこれに併せて市単独事業で実施する。			なし					
	新たに追加した事業	基幹事業										
		提案事業										
交付期間の変更	当初	平成27年度から令和元年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		指標の目標年度を令和元年度から令和2年度に変更した。(目標値に影響なし)							
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	市民活動参加者数	人/年度	171,739	H25	180,000	R2	80,308	×	あり	旧中央公民館・勤労市民センター閉館後から新中央公民館開館まで期間が空いたため、利用者が新中央公民館に戻ってきていないと考えられる。また、コロナ禍により休館せざるを得ない期間があったため、利用者数は減少している。	令和7年3月頃
	指標2	イベント開催回数	回/年度	14	H25	15	R2	1	×	あり	市民活動ひろば、緑の活動ひろばの供用を開始することができず、効果が発揮できなかった。また、コロナ禍の影響によりイベントの開催が制限されている。	令和7年3月頃
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所周辺地区に従来からある市立末広中央公園、市立スポーツセンターに加え、緑の散策ひろば・市民活動ひろば、駐車場(地域生活基盤施設)、中央公民館(高次都市施設)を設置したことにより、まとまりのあるまちづくりによる周辺地域の魅力の向上</li> <li>中央公民館、ひろばを整備することで、市民の活動拠点の選択肢を増やすことができています。</li> <li>武庫川と一体化した水と緑の空間整備を行うことで、市民へ新たな憩いの場を提供できる。</li> </ul>											
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				
	住民参加プロセス	本事業の基本構想策定時に、住民参加型ワークショップを6回に渡り実施し、また、平成29年度に住民と意見交換を行い、その意見を事業へ反映した。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 整備後においても、市民にとって使いやすいひろばづくりに努める。				
	持続的なまちづくり体制の構築	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				

## 様式2-2 地区の概要

宝塚市役所周辺地区(兵庫県宝塚市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
目標1 工場跡地の有効活用や複合機能を備えた施設整備により市民活動の拠点を整備し、市民生活サービスを充実させることで、活力があふれ暮らしやすいまちをつくる。 目標2 アメニティの向上を図るとともに、災害時の避難空間を整備し、安全・安心で災害に強い良好な居住環境を形成する。	市民活動参加者数	単位:人/年度	171,739 H25	180,000 R2	80,308 R2
	イベント開催回数	単位:回/年度	14 H25	15 R2	1 R2
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流センター(中央公民館)の整備を行い、平成31年2月に全体の供用を開始したが、コロナ禍による緊急事態宣言発出等により臨時休館となった時期もあり、利用者数は伸び悩んでいる。</li> <li>・コロナ禍により大人数が参加するイベントの開催は困難となったものの、公園やひろば等オープンスペースの重要性は増しており、需要は増加している。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページだけでなく、SNSや公民館が発行する広報誌「かわら版」を活用した各種広報を充実していく。</li> <li>・指定管理者による運営管理など、民間活力を導入した管理運営を導入する。</li> <li>・中央公民館、ひろばを整備したことにより、より一層逆瀬川駅と市役所周辺へのアクセス性が重要になっていることから、アクセス性向上の取組について検討を進めていく。</li> <li>・将来はエリア全体を一体管理し、有機的に利用できるようにするなど、運営方法について検討していく。</li> <li>・コロナ禍により、市民の生活様式は変わってきているため、市民のニーズ及びその変化を的確に捉え、マネジメントに反映していく。特に、子育て世代のニーズを重要視する必要がある。</li> </ul>